

4. 第1回三鷹地区検討会

4. 第1回三鷹地区検討会

4-1 第1回三鷹地区検討会の振り返り

(1) 第1回三鷹地区検討会の開催概要

開催状況報告(速報)

中央ジャンクション三鷹地区検討会

速報

第1回地区検討会が開催されました

8月23日(土)、24日(日)に、中央ジャンクション三鷹地区検討会が開催されました。



日 時:平成20年8月23日(土) 10:00~17:00
24日(日) 10:00~17:00
場 所:法政大学中学高等学校
参加者数:23日 現地見学会 58名
地区検討会 89名(メンバー登録119名)
24日 地区検討会 76名(メンバー登録119名)

(写真1)15のグループに分かれて検討を行いました

第1回三鷹地区検討会は、2日間に渡り法政大学中学高等学校で行われました。23日の午前中は現地見学会が行われ、計画の内容や地域に関する情報などを確認しました。

23日の午後及び24日は市民のみなさまによる話し合いが、15のグループに分かれ、「中央ジャンクションができることで心配なこと」「交通、環境で心配なこと」「まちづくりで心配なこと」をテーマに行われました。

話し合いの結果、「工事中・完成後の生活道路の渋滞・分断」「地域コミュニティの分断」「大気への影響」「地下水への影響」「農地の減少」などが心配なこととして発表されました。



(写真2)主催者を代表して、清原三鷹市長より挨拶がありました



(写真3)各グループの発表係が発表を行いました



(写真4)各グループの意見に対し、投票を行いました

中央・三鷹



※東京外かく環状道路調査事務所ホームページにも掲載

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/>

(2) 第1回三鷹地区検討会の結果（総括）

参加者の皆さんに出して頂いたそのままの意見を客観的に整理し、シール投票結果を定量的に分析して結果のとりまとめを行いました。3つの話し合いテーマについて、それぞれ次の傾向が見られました。

第1回話し合いテーマ「外かく環状道路中央ジャンクションができることで、心配なことはありますか？」

- 話し合いの結果から、“まとめた意見”を傾向別に「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」に大分類を行った。
- 「環境」への関心が最も高く、その中でも「地下水」や「大気質」については、多くのグループから意見が出され、関心が高くなっており、「水枯れと水質汚染」という意見に多くの投票があった。
- 「用地・補償」については、「農産物への被害」や「農地の代替」など農業に関する関心が高かった。
- 「安全・安心」については、「交通安全・治安」の項目として「インターチェンジ周辺の風紀」という意見に多くの投票があった。
- 「計画検討の進め方」の中では、「計画検討全般」に関する意見や「予測結果」に関する意見に対して関心が高く、「本当に必要か？ムダ使いが心配」「事前予測（交通量・費用・環境負荷など）が心配」という意見に多くの投票があった。
- “残したい意見”として、「災害時の対応」や「移転の補償」などについて、複数のグループから意見が出されていた。

第2回話し合いテーマ「交通、環境などで心配なことは？」

- “まとめた意見”を第1回話し合いの結果から分類した「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。
- 「環境」への関心が最も高く、「環境一般」に対する意見や「大気質」、「地下水」についての関心が高く、「42項目の市長意見書を絶対実行して下さい」という意見に多くの投票があった。
- 「交通」の意見として、「幹線交通」に関しての意見が多く、東八道路IC周辺に関する意見が多くのグループから出されていた。
- シール投票の傾向で分析した項目以外では、「工事中の工事車両による問題（専用ランプ）」、「農地減少による多面的機能低下が心配」、「情報不足・計画の内容の疑問、お金の無駄等、将来への不安」という意見に多くの投票があった。
- “残したい意見”として、「地域分断」や「予測データ」などについて、複数のグループから意見が出されていた。

第3回話し合いテーマ「まちづくりで心配なことは？ ～通学路や日常生活など～」

- “まとめた意見” を第1回話し合いの結果から分類した「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。
- 「まちづくり」に対する意見として、「土地利用」に関するものが最も多かった。
また、「まちづくり全般」として「農地減少による農業の衰退の心配」、「地域分断」として「越境入学ができるように」という意見に多くの投票があった。
- 「安全・安心」の意見として、「交通安全・治安」に関するものが多く、「子供や高齢者に対する交通安全」や「治安」に関して複数のグループから意見が出されていた。
- シール投票の傾向で分析した項目以外では、「計画検討の進め方」として「ジャンクションの地下化（中央道の地下化）」、「公害対策のための基礎観測データが不足」、「抜本的な問題は、国交省の予測評価が信用できない」という意見に多くの投票があった。
- “残したい意見” としても、「商業施設の増加」など「土地利用」に関する意見が複数のグループから出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

テーマ「外かく環状道路中央ジャンクションができることで、心配なことはありますか？」

(1)シール投票結果

- 例

シール投票の傾向

■幹線交通に関する意見	98票
■地区交通に関する意見	71票
■土地利用に関する意見	67票

例

- 話し合いの結果から、「まとめた意見」を第1回検討会と題して「交通」「環境」「まちづくり」「安全・安心」「工事中」「用地・補償」「財政・経計の進め方」に大分類を行った。
- 「交通」への関心が高かった。その中でも「新幹線交通」や「地域交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高かった。
- 「まちづくり」については、「土地・町」に関する関心が高かった。
- 交通、環境に関する「懸念した意見」として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が複数のグループから出されていた。

例

- ✖2

所得の分類

所得の種類	所得の金額	所得の源泉徴収額
給与所得	100,000	10,000
雑所得	50,000	5,000

※1 中分類

※3

- | 例 | | 例 | |
|----|----|----|-----|
| 例 | 例 | 例 | 例 |
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | 32 |
| 33 | 34 | 35 | 36 |
| 37 | 38 | 39 | 40 |
| 41 | 42 | 43 | 44 |
| 45 | 46 | 47 | 48 |
| 49 | 50 | 51 | 52 |
| 53 | 54 | 55 | 56 |
| 57 | 58 | 59 | 60 |
| 61 | 62 | 63 | 64 |
| 65 | 66 | 67 | 68 |
| 69 | 70 | 71 | 72 |
| 73 | 74 | 75 | 76 |
| 77 | 78 | 79 | 80 |
| 81 | 82 | 83 | 84 |
| 85 | 86 | 87 | 88 |
| 89 | 90 | 91 | 92 |
| 93 | 94 | 95 | 96 |
| 97 | 98 | 99 | 100 |

例

- ⑧ 1. 外かく僅状道徳中実ジャンクションがでる
 ことで、も配分とはあつたますか？

23

(1) シール投票結果

シール投票の傾向

■地下水に関する意見	: 76票
■大気質に関する意見	: 62票
■用地・補償に関する意見	: 52票

(2) “まとめた意見”の傾向と分析（再掲）

- 話し合いの結果から、“まとめた意見”を傾向別に「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」に大分類を行った。
- 「環境」への関心が最も高く、その中でも「地下水」や「大気質」については、多くのグループから意見が出され、関心が高くなっており、「水枯れと水質汚染」という意見に多くの投票があった。
- 「用地・補償」については、「農産物への被害」や「農地の代替」など農業に関する関心が高かった。
- 「安全・安心」については、「交通安全・治安」の項目として「インターチェンジ周辺の風紀」という意見に多くの投票があった。
- 「計画検討の進め方」の中では、「計画検討全般」に関する意見や「予測結果」に関する意見に対して関心が高く、「本当に必要か？ムダ使いが心配」「事前予測（交通量・費用・環境負荷など）が心配」という意見に多くの投票があった。
- “残したい意見”として、「災害時の対応」や「移転の補償」などについて、複数のグループから意見が出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

(3) “まとめた意見” の集計結果および一例

話し合いの結果		得票数(票)	得票率(%)	ご意見の例	
交通	地区交通	20	3%	7%	周辺道路の混雑と生活道路の確保 など
	幹線交通	20	3%		ジャンクション、周辺の道路、それにつながる道路の整備がうまくいくか など
	広域交通	5	1%		交通量の悪化
環境	大気質	62	11%	34%	換気所の高さは15mで十分か など
	騒音・振動・低周波音	11	2%		交通量増大に伴う、生活道路に入る・騒音・振動 など
	地下水	76	13%		水たれと水質汚染 など
	緑の量	16	3%		緑地の問題 など
	環境一般	31	5%		自然環境(水・大気・緑・電波・騒音)への悪影響
まちづくり	まちづくり全般	13	2%	9%	農業や自然・文化・歴史・景観への影響が心配 など
	地域分断	32	6%		地域社会の分断 など
	土地利用	7	1%		ジャンクション付近(フタかけ部分)の有効活用
安全・安心	交通安全・治安	49	8%	12%	インターチェンジ周辺の風紀 など
	災害・事故時の対応	23	4%		トンネル内での事故、自然災害での対応が心配 など
工事中	工事中の交通への影響	14	2%	5%	工事車両が生活道路等に影響を及ぼさないか など
	工事中の環境への影響	13	2%		工事期間中の生活環境を守るか?(工事車両、掘削土砂、情報窓口) など
	工事中の安全性	4	1%		工事車両のへい害(騒音・安全)
用地・補償	用地・補償等	52	9%	15%	農作物への被害(延先販売) など
	生活基盤への影響	32	6%		固定資産税等による生活費が心配 など
計画検討の進め方	計画検討全般	46	8%	18%	本当に必要か?ムダ良いか心配
	意見反映	6	1%		沿線住民の健康への継続的調査と対策
	情報の提供	17	3%		情報不足
	予測結果	32	6%		事前予測(交通量・費用・環境負担)が正しいか心配 など
		総計581	100%		

(4) 集計表

第1回話し合いテーマ

「外かく環状道路中央ジャンクションができることで、心配なことはありますか？」(得票総計=581票)

【 】内はグループ名を表す。

心配や課題に対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●交通			45	7%
まとめた意見	地区交通		20	3%
	周辺道路の混雑と生活道路の確保 【グループ3】	9		
	生活道路での環境悪化 【グループ5】	7		
	地域交通(生活道路)(通学路)(歩道)への悪影響(交通量・命)が心配 【グループ7】	4		
	幹線交通		20	3%
	ジャンクション、周辺の道路、それにつながる道路の整備がうまくいくか 【グループ10】	6		
	完成後の周辺道路の渋滞が心配 【グループ8】	5		
	インターチェンジ周辺の道路整備と中央道渋滞緩和 【グループ6】	3		
	周辺道路の整備(車両の流れ、用途地域、安全) 【グループ11】	3		
	インター周辺の交通渋滞 【グループ14】	3		
	広域交通		5	1%
	交通環境の悪化 【グループ1】	5		
残したい意見	東八道路、混雑時の出入りが心配 【グループ10】			
●環境			196	34%
まとめた意見	大気質		62	11%
	換気所の高さは1.5mで十分か 【グループ2】	12		
	大気汚染 【グループ1】	8		
	換気所の排ガス処理 【グループ3】	7		
	換気所、中央JCT・東八ICなどによる大気汚染 【グループ5】	7		
	2か所も換気所があるので大気汚染が心配 【グループ13】	7		
	大気汚染 【グループ4】	6		
	大気汚染による健康被害 【グループ9】	6		
	大気汚染 【グループ6】	3		
	換気塔からの排ガス 【グループ12】	3		
	換気所排ガスの問題 【グループ14】	3		
	騒音・振動・低周波音		11	2%
	交通量増大に伴う、生活道路に入る・騒音・振動 【グループ9】	6		
	交通量の増大による事故、騒音 【グループ4】	5		
	地下水		76	13%
	水枯れと水質汚染 【グループ1】	21		
	地下水への影響の諸々の問題(例、水枯れ) 【グループ4】	16		
	地下水の汚染と分断の心配はないか 【グループ2】	12		
	地下水の汚染と枯渇 【グループ5】	12		
	地下水の汚染、枯水、地盤変化 【グループ9】	8		
	地下水脈に対する影響が心配(汚染・断水など・・・) 【グループ13】	5		
	雨水処理と地下水汚染 【グループ6】	2		
	緑の量		16	3%
	緑地の問題 【グループ3】	10		
	生活環境(緑、通学道路)の確保 【グループ4】	6		
	環境一般		31	5%
	自然環境(水、大気、緑、電波、騒音)への悪影響 【グループ8】	8		
	自然環境対策(水、空気、緑) 【グループ11】	7		
	CO ₂ 排出対策、騒音対策 【グループ10】	4		
	生活環境の悪化(地下水・緑地) 【グループ12】	4		
	環境の悪化が心配 【グループ15】	4		
	環境の悪化(大気・地下水・地盤・騒音)が心配 【グループ7】	3		
	大気汚染の基準値と対応 【グループ15】	1		
残したい意見	野生動物の生態系への影響 【グループ1】			
	きれいな空気 【グループ3】			
	緑の減少 【グループ5】			
	換気所の機能、効果、周辺への影響 【グループ8】			
	42項目を役所は守ってほしい 【グループ14】			

第1回話し合いテーマ

「外かく環状道路中央ジャンクションができることで、心配なことはありますか？」(得票総計=581票)

【 】内はグループ名を表す。

心配や課題に対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●まちづくり			52	9%
まとめた意見	まちづくり全般		13	2%
	農業や自然・文化・歴史・景観への影響が心配 【グループ7】	8		
	新しいコミュニティ対策 【グループ3】	5		
	地域分断		32	6%
	地域社会の分断 【グループ5】	11		
	町の分断(三日月地帯と新三角地帯) 【グループ1】	5		
	生活環境の悪化、コミュニティの分断・通学路の分断 【グループ9】	4		
	地域の分断 【グループ12】	4		
	生活道路の寸断により、今まで通り生活ができるのかが心配 【グループ13】	4		
	コミュニティの分断 【グループ14】	4		
残したい意見	土地利用		7	1%
	ジャンクション付近(フタかけ部分)の有効活用 【グループ11】	7		
	北野の集中している地下水源(井戸)をみんなで見よう 【グループ1】			
	換気所のデザイン 【グループ2】			
	大きな木や農地を残して欲しい。【グループ3】			
	三日月地域の住民の方々の生活が心配(袋小路になってしまう) 【グループ13】			
●安全・安心			72	12%
まとめた意見	交通安全・治安		49	8%
	インターチェンジ周辺の風紀 【グループ15】	20		
	生活道路の安全を確保できるのか 【グループ2】	9		
	治安対策 【グループ3】	9		
	周辺道路の危険(整備) 【グループ12】	6		
	交通弱者の安全確保が出来るか 【グループ10】	5		
	災害・事故時の対応		23	4%
	トンネル内での事故、自然災害での対応が心配 【グループ8】	13		
	緊急、自然災害への対応力が必要 【グループ4】	9		
	大深度地下工法での大地震時の安全性 【グループ14】	1		
残したい意見	災害時の対応(地下部分) 【グループ12】			
	地下トンネル内による交通事故や災害時の安全性が心配 【グループ13】			

第1回話し合いテーマ

「外かく環状道路中央ジャンクションができることで、心配なことはありますか？」(得票総計=581票)
 【 】内はグループ名を表す。

心配や課題に対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●工事中			31	5%
まとめた意見	工事中の交通への影響		14	2%
	工事車両が生活道路等に影響を及ぼさないか 【グループ10】	8		
	工事期間中の周辺への影響が心配 【グループ8】	6		
	工事中の環境への影響		13	2%
	工事期間中の生活環境を守れるか？(工事車両、掘削土砂、 情報窓口) 【グループ11】	5		
	工事による環境悪化、騒音・振動・土壌の処理 【グループ9】	4		
	工事期間中の生活環境 【グループ15】	4		
	工事中の安全性		4	1%
●用地・補償			84	15%
まとめた意見	用地・補償等		52	9%
	農産物への被害(庭先販売) 【グループ5】	16		
	農地を含む周辺住民の生活補償(三鷹の農業を守る) 【グループ11】	11		
	農地の代替 【グループ14】	11		
	用地買収はうまくいくのか、ダメな場合の対策は 【グループ10】	10		
	農地の代替 家屋移転 【グループ1】	4		
	生活基盤への影響		32	6%
	固定資産税等による生活費が心配 【グループ15】	19		
●計画検討の進め方	市の財政負担は生じないか(十分な財政援助を) 【グループ2】	11		
	生活基盤への不安 【グループ6】	2		
	計画検討全般		101	18%
	本当に必要か？ムダ使いが心配。 【グループ7】	46	46	8%
	意見反映		6	1%
	沿線住民の健康への経線的調査と対策 【グループ2】	6		
	情報の提供		17	3%
	情報不足 【グループ6】	17		
まとめた意見	予測結果		32	6%
	事前予測(交通量・費用・環境負荷など)が正しいか心配 【グループ7】	25		
	完成時の交通量の予測が正確か心配 【グループ8】	7		
残したい意見	市の関係する諸費用額が不明。【グループ4】			
	移転の補償費は？ 【グループ4】			
	(完成後の維持管理)が心配 【グループ7】			
	三つの施設が何故三鷹に集中したのか？【グループ8】			
	1兆6000億円もかけて外かんは必要か？ 【グループ9】			
	少子化・社会環境の変化するなかで新しく作る必要性？ 【グループ9】			
	地権者への補償 【グループ12】			
	政権が変わっても持続するのか？ 【グループ15】			
	公害による医療費の対応 【グループ15】			

4-3 第2回話し合い（8月24日）の結果 テーマ「交通、環境などで心配なことは？」

話し合いの結果の見方

(1) シール投票結果

- ・ 下記(3)の中分類得票数の上位3傑を掲載。
※1

例

シール投票の傾向

- 幹線交通に関する意見
- 地区交通に関する意見
- 土地利用に関する意見

98票
71票
67票

(2) “まとめた意見”の傾向と分析

- ・ 集計表の投票結果をもとに出された意見の考察。
- ・ 特に(1)において得票数の多かった“まとめた意見”、特徴的な“残したい意見”についての傾向を分析。

例

- 話し合いの結果から、“まとめた意見”を第1回検討会から主に「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「防災・防災の進め方」に大分類を行った。
- 「交通」への関心が最も高く、その中でも「幹線交通」や「地区交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高く入っている。
- 「まちづくり」については、「土地・地」に関する関心が高かった。
- 交通、環境に関する“残したい意見”として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が複数のグループから出されていた。

(3) “まとめた意見”の集計結果および一例

- ・ ご意見の例は、最多得票の意見を掲載。※2
- ・ 同数票の場合は意見を複数掲載。※3

例

グループ	得票数	意見
グループ1	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ2	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ3	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ4	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ5	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ6	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ7	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ8	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ9	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ10	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ11	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ12	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ13	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ14	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）
グループ15	10	幹線道路の拡充（道路の拡充）

※1 中分類

※2

ご意見の例
など
など
など
など
など
など

※3

(4) 集計表

- ・ 複数の分類項目にまたがる意見や判断が難しい意見については事務局の判断で分類を実施。
- ・ 【 】内はグループ名を示す。
- ・ 得票率は、合計が100%となるように一部端数を処理。

例

分類	グループ	得票数	得票率
交通	グループ1	10	10%
	グループ2	10	10%
	グループ3	10	10%
	グループ4	10	10%
	グループ5	10	10%
	グループ6	10	10%
	グループ7	10	10%
	グループ8	10	10%
	グループ9	10	10%
	グループ10	10	10%
環境	グループ11	10	10%
	グループ12	10	10%
	グループ13	10	10%
	グループ14	10	10%
	グループ15	10	10%
	グループ16	10	10%
	グループ17	10	10%
	グループ18	10	10%
	グループ19	10	10%
	グループ20	10	10%

(5) 話し合いワークシート

- ・ シール投票は、持ち票を1人につき8票までとして実施。
- ・ シール投票では、各テーマの表型ワークシートの下段の“まとめ”へのみ投票を行った（“残したい意見”への投票は行っていない）。

例



地図型ワークシート

※グループ数は、全部で15ですが、統合して調整を行ったため、グループ1が欠番となっています。

(1) シール投票結果

シール投票の傾向

■幹線交通に関する意見	: 81票
■環境一般に関する意見	: 76票
■大気質に関する意見	: 63票

(2) “まとめた意見” の傾向と分析（再掲）

- “まとめた意見” を第1回話し合いの結果から分類した「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。
- 「環境」への関心が最も高く、「環境一般」に対する意見や「大気質」、「地下水」についての関心が高く、「42項目の市長意見書を絶対実行して下さい」という意見に多くの投票があった。
- 「交通」の意見として、「幹線交通」に関しての意見が多く、東八道路IC周辺に関する意見が多くのグループから出されていた。
- シール投票の傾向で分析した項目以外では、「工事中の工事車両による問題（専用ランプ）」、「農地減少による多面的機能低下が心配」、「情報不足・計画の内容の疑問、お金の無駄等、将来への不安」という意見に多くの投票があった。
- “残したい意見” として、「地域分断」や「予測データ」などについて、複数のグループから意見が出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

(3) “まとめた意見”の集計結果および一例

話し合いの結果		得票数票		得票率%		ご意見の列
交通	地区交通	37	118	7%	21%	生活道路の確保（北野・仙川 吉祥寺・北野大通り） など
	幹線交通	81		14%		東ハインターの誘導策は十分？ アクセス道路 外環道の供用開始までに整備されているか？ など
環境	大気質	63	198	11%	34%	換気所が分散できないか、高さは十分か など
	地下水	47		8%		上下水道・地下水の分断と影響 など
	緑の量	8		1%		緑地面積（公園 農園・・・）は十分か・・・
	景観	1		0%		緑豊かな道路空間 公園 緑地 遊歩道 歩道 側道 振動と騒音が心配
	環境一般	76		13%		42項目の市長意見書を総て実行して下さい など
	地質・地盤	3		1%		地盤の変動（沈下・隆起・流状化しやすくなる）
まちづくり	まちづくり全般	6	102	1%	18%	三鷹のおいしい農産物が食べられなくなる
	地割分断	40		7%		吉祥寺通りの分断が心配 など
	土地利用	47		8%		都市計画上の用途変更があるのか？ など
	維持管理	9		2%		緑地管理（完成後のメンテナンス？）
安全・安心	交通安全・治安	28	28	5%	5%	JCT内の防犯対策は十分か・・・ など
工事中	工事中の交通への影響	29	44	5%	8%	工事中の工事車両による問題（専用ランプ） など
	工事中の環境への影響	9		2%		工事車両の保管場所 など
	工事中の安全性	6		1%		工事中の安全確保（歩行者向け対策）
用地補償	用地・補償等	27	27	5%	5%	農地減収による多面的機能低下が心配 など
計画・進め方・検討	計画策定全般	40	52	7%	9%	情報不足・計画の内容の疑問 お金の無駄等 将来への不安
	情報の提供	12		2%		国土省の将来の交通量の予測は信用できない。20～30年後のことなのでわかるはずがない
		総計569		100%		

(4) 集計表

第2回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことは？」（得票総計＝569票）

【 】内はグループ名を表す。

心配や課題に対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●交通			118	21%
まとめた意見	地区交通		37	7%
	生活道路の確保（北野→仙川、吉祥寺通り・北野大通り）【グループ13】	19		
	生活道路の確保（工事分割による期間短縮）例）三日月地帯【グループ3】	10		
	三日月地域の生活道路の確保【グループ4】	4		
	側道作成の充実（生活道路）【グループ7】	4		
	幹線交通		81	14%
	東ハインターの混雑対策は十分？【グループ12】	11		
	アクセス道路、外環道が供用開始までに整備されているか？【グループ15】	11		
	東八道路・渋滞（出入口）、外環その2【グループ6】	10		
	東八IC周辺の渋滞【グループ4】	9		
	インターチェンジ出口の大気汚染と交通渋滞【グループ14】	8		
	周辺道路の交通量増大（完成後）【グループ3】	7		
	吉祥寺通りと北野中央通りの救済【グループ7】	5		
	東八IC周辺道路（交通量増加等の対応）【グループ13】	5		
	東八IC付近の交通量増加と事故が心配【グループ5】	4		
	外環で分断される交通の処理【グループ14】	4		
	東ハインター入口の工夫【グループ7】	3		
	吉祥寺通、東八道路の主要道路【グループ8】	3		
	東八IC周辺の渋滞と生活道路への進入【グループ15】	1		
残したい意見	高井戸インター八王子方面の乗り入れ【グループ2】			
	小学生の他区・市への通学が出来るのか・・・？【グループ6】			
	JCT内（付近）交通事故に対する具体的な対策【グループ13】			
	外環をまたぐ道路をつくる【グループ14】			

「交通、環境などで心配なことは？」（得票総計＝569票）

【 】内はグループ名を表す。

心配や課題に対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●環境	大気質		198	34%
	換気所は分散できないか、高さは十分か 【グループ12】	10	63	11%
	換気塔をつけるなら脱硝装置（NOx）は絶対必要 【グループ14】	9		
	換気所・基準・監視機関・中止可・・・？ 【グループ6】	8		
	換気所による大気汚染（既存緑地への影響など） 【グループ3】	7		
	換気所の三鷹への集中させて 【グループ2】	5		
	大気汚染（換気塔2つは負荷が大きい） 【グループ4】	5		
	換気所の機能を含めた大気への影響 【グループ13】	5		
	換気所からの排ガスによる健康被害 【グループ15】	5		
	排気所からの大気汚染が心配 【グループ5】	4		
	大気汚染（換気所・開口部からの排出）周辺道路の交通量増加 【グループ9】	3		
	換気塔設置に伴う諸問題 【グループ8】	2		
	地下水		47	8%
	上下水道・地下水の分断と影響 【グループ3】	15		
	地下水脈の分断・汚染・井戸の涸渇→深井戸・浅井戸への影響、水道水の量・水質 【グループ9】	13		
	地下水への影響への調査が不十分 【グループ8】	10		
	地下水への影響 【グループ4】	7		
	地下水の汚染や地盤沈下が心配 【グループ5】	2		
	緑の量		8	1%
	緑地面積（公園、農園・・・）は十分か・・・ 【グループ12】	8		
	景観		1	0%
	緑豊かな道路空間 公園 緑地 遊歩道 歩道 側道 振動と騒音が心配 【グループ14】	1		
	環境一般		76	13%
	42項目の市長意見書を絶対実行して下さい 【グループ14】	26		
	環境省の考え方・同席がないの・・・？ 【グループ6】	14		
	生きる3大基盤の水・空気・土への影響 【グループ10】	12		
	環境影響の予測、評価について（不確定の要素が多い） 【グループ13】	12		
	インターチェンジ付近の環境悪化（騒音、空気） 【グループ2】	8		
	三日月地帯の生活環境と自由が奪われる 【グループ10】	4		
	地質・地盤		3	1%
	地盤の変動（沈下・隆起・流状化しやすくなる） 【グループ9】	3		
残したい意見	排気ガスの温度 【グループ11】			

第2回話し合いテーマ

「交通、環境などで心配なことは？」（得票総計＝569票）

【 】内はグループ名を表す。

心配や課題に対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●まちづくり			102	18%
まとめた意見	まちづくり全般		6	1%
	三鷹のおいしい農産物が食べられなくなる 【グループ10】	6		
	地域分断		40	7%
	吉祥寺通りの分断が心配 【グループ11】	9		
	地域分断対策は？（道路、学校、生活・・・） 【グループ12】	8		
	工事中、完成後、生活道路の分断 【グループ2】	6		
	北野地区の生活道路、通学路の分断 【グループ4】	5		
	生活・通学道路の分断、吉祥寺通り 【グループ6】	5		
	北野町会の分断が心配 【グループ11】	3		
	生活道路の分断（通学路、道路規制変更） 【グループ9】	2		
	生活道路の分断 【グループ8】	2		
	生活道路が分断される（吉祥寺通り、北野中央通り・・・） 【グループ15】	0		
	バス通りの分断が心配 【グループ5】	0		
	土地利用		47	8%
	都市計画上の用途変更があるのか？ 【グループ15】	16		
残したい意見	ジャンクションのふたかけ 【グループ7】	15		
	掘った土の再利用で公園化 【グループ7】	10		
	仙川・遊歩道 【グループ6】	6		
	維持管理		9	2%
残したい意見	緑地管理（完成後のメンテナンス？） 【グループ2】	9		
	コミュニティの分断が心配 【グループ5】			
	ジャンクション計画を利用して三鷹の活性化 【グループ7】			
残したい意見	地域分断 地域社会崩壊をふせぐ 【グループ14】			
●安全・安心			28	5%
まとめた意見	交通安全・治安		28	5%
	JCT内の防犯対策は十分か・・・ 【グループ12】	14		
	緑地の治安 【グループ11】	8		
	生活道路に車があふれ、子供・高齢者が安心して歩けなくなる 【グループ10】	6		
●工事中			44	8%
まとめた意見	工事中の交通への影響		29	5%
	工事中の工事車両による問題（専用ランプ） 【グループ3】	23		
	工事期間中の周辺の影響 【グループ11】	6		
	工事中の環境への影響		9	2%
	工事汚泥の保管場所 【グループ13】	5		
	工事車両の問題（騒音・振動・排ガス） 【グループ9】	4		
	工事中の安全性		6	1%
	工事中の安全確保（歩行者ぬけ道対策） 【グループ2】	6		
●用地・補償			27	5%
まとめた意見	用地・補償等		27	5%
	農地減少による多面的機能低下が心配 【グループ5】	21		
	近隣の農家の方の生活環境 【グループ11】	6		
●計画検討の進め方			52	9%
まとめた意見	計画検討全般		40	7%
	情報不足・計画の内容の疑問、お金の無駄等、将来への不安 【グループ10】	40		
	情報の提供		12	2%
	国土省の将来の交通量の予測は信用できない。20～30年後 のことなど分かるはずがない 【グループ8】	12		
残したい意見	税金のムダ使いをしない（必要最小限に） 【グループ4】			
	予測・対策・検証の情報公開の徹底を 【グループ4】			
	データについて不安。対策を講じますか？どんな？将来と現在の比較 データを開示 【グループ10】			
	三日月地区の対策が不十分 【グループ11】			
	完成後の窓口（クレーム、相談、提案・・・）は作るの？ 【グループ12】			

4-4 第3回話し合い（8月24日）の結果

テーマ「まちづくりで心配なことは？～通学路や日常生活など～」

話し合いの結果の見方

(1) シール投票結果

- ・ 下記(3)の中分類得票数の上位3傑を掲載。
※1

例

シール投票の傾向	
■ 幹線交通に関する意見	98票
■ 地区交通に関する意見	71票
■ 土地利用に関する意見	67票

(2) “まとめた意見”の傾向と分析

- ・ 集計表の投票結果をもとに出された意見の考察。
- ・ 特に(1)において得票数の多かった“まとめた意見”、特徴的な“残したい意見”についての傾向を分析。

例

○話し合いの結果から、“まとめた意見”を第1回検討会から第3回に「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「用地・補償」、「その他検討の進め方」に大分類を行った。

○「交通」への関心が最も高く、その中でも「幹線交通」や「地区交通」については、多くのグループから意見が出され、関心が高まっている。

○「まちづくり」については、「土地利用」に関する関心が高かった。

○交通、環境に関する“残したい意見”として、「自転車道の整備」や「電気自動車の普及」などの意見が複数のグループから出されていた。

(3) “まとめた意見”の集計結果および一例

- ・ ご意見の例は、最多得票の意見を掲載。※2
- ・ 同数票の場合は意見を複数掲載。※3

例

※1 中分類	
1. 幹線交通に関する意見	98票
2. 地区交通に関する意見	71票
3. 土地利用に関する意見	67票

※2 ご意見の例	
1. 幹線交通に関する意見	98票
2. 地区交通に関する意見	71票
3. 土地利用に関する意見	67票

※3

(4) 集計表

- ・ 複数の分類項目にまたがる意見や判断が難しい意見については事務局の判断で分類を実施。
- ・ 【 】内はグループ名を示す。
- ・ 得票率は、合計が100%となるように一部端数を処理。

(5) 話し合いワークシート

- ・ シール投票は、持ち票を1人につき8票までとして実施。
- ・ シール投票では、各テーマの表型ワークシートの下段の“まとめ”へのみ投票を行った(“残したい意見”への投票は行っていない)。

例



地図型ワークシート

※グループ数は、全部で15ですが、統合して調整を行ったため、グループ9,11が欠番となっています。

(1) シール投票結果

シール投票の傾向

■土地利用に関する意見	： 97 票
■まちづくり全般に関する意見	： 64 票
■交通安全・治安に関する意見	： 61 票

(2) “まとめた意見” の傾向と分析（再掲）

- “まとめた意見” を第1 回話し合いの結果から分類した「交通」、「環境」、「まちづくり」、「安全・安心」、「工事中」、「計画検討の進め方」の大分類項目に従い整理をした。
- 「まちづくり」に対する意見として、「土地利用」に関するものが最も多かった。
また、「まちづくり全般」として「農地減少による農業の衰退の心配」、「地域分断」として「越境入学ができるように」という意見に多くの投票があった。
- 「安全・安心」の意見として、「交通安全・治安」に関するものが多く、「子供や高齢者に対する交通安全」や「治安」に関して複数のグループから意見が出されていた。
- シール投票の傾向で分析した項目以外では、「計画検討の進め方」として「ジャンクションの地下化（中央道の地下化）」、「公害対策のための基礎観測データが不足」、「抜本的な問題は、国交省の予測評価が信用できない」という意見に多くの投票があった。
- “残したい意見” としても、「商業施設の増加」など「土地利用」に関する意見が複数のグループから出されていた。

※1 詳細は、巻末の「ワークシートデータ」をご参照下さい。

※2 ご意見については、シール投票において20票以上あったものを掲載しています。

(3) “まとめた意見”の集計結果および一例

話し合いの結果		得票数(票)		得票率(%)		ご意見の例
交通	地区交通	43	61	8%	11%	インターがあることで交通集中が起こり、市民が道路を使えない など
	幹線交通	18		3%		3・4・3号と3・4・12号を整備して吉祥寺通りバスを通す 幹線道の整備と本線との兼ね合い
環境	大気質	5	54	1%	10%	工事中の粉じん、排ガスに依る農地への影響
	地下水	6		1%		工事に伴う深井戸への影響・・・おいしい水道水は飲めるのか
	動物・植物・生態系	9		2%		自然・動植物への悪影響、“野鳥”
	緑の量	5		1%		農地、緑の減少
	日照障害・電波障害・風など	8		1%		光害（動植物への影響、ペットも）
	史跡・文化財	14		3%		遺跡、神社等歴史を守れるのか
	環境一般	7		1%		住環境の質が下がる（全市的） など
まちづくり	まちづくり全般	64	211	12%	39%	農地減少による農業の衰退の心配 など
	地域の分断	50		9%		越境入学ができるように など
	土地利用	97		18%		伝統行事の場所の確保 など
安全・安心	交通安全・治安	61	116	11%	21%	子供たちの通学への悪影響 IC付近の風紀上の問題 など
	災害・事故時の対応	55		10%		農地減少による保水力の担保（JCT内の雨水対策） など
工事中	工事中の交通への影響	13	27	2%	4%	工事中の生活道路の確保 など
	工事中の環境への影響	8		1%		工事中の日常生活の安定（公害、緊急車両など）
	工事中の安全性	6		1%		工事中の安全・防犯が心配 工事中の工事車両の安全性
計画検討の進め方	計画検討全般	26	81	5%	15%	ジャンクションの地下化（中央道の地下化） など
	情報の提供	29		5%		公害対策のための基礎観測データが不足
	予測結果	26		5%		根本的な問題は、国土省の予測評価が信用できない（地下水、交通量）
		総計550		100%		

(4) 集計表

第3回話し合いテーマ

「まちづくりで心配なことは? ～通学路や日常生活など～」(得票総計=550票)

【 】内はグループ名を表す。

心配や課題に対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●交通			61	11%
まとめた意見	地区交通		43	8%
	インターがあることで交通集中が起こり、市民が道路を使えない 【グループ5】	13		
	生活道路の確保(三日月地区、側道、計画道路本当に作れるか) 【グループ6】	10		
	現状と同じだけの生活道路を確保できるか 【グループ13】	8		
	側道と計画道路の(フタ掛けの範囲未定による)実現性 【グループ14】	6		
	横断生活道路の確保 【グループ1】	4		
	道路の行き止まり(通学路・生活道路) 【グループ7】	2		
	幹線交通		18	3%
	3・4・3号と3・4・12号を整備して吉祥寺通りバスを通す 【グループ2】	9		
	幹線道の整備と本線との兼ね合い 【グループ10】	9		
残したい意見	公共交通機関の確保(バス路線の増加) 【グループ12】			
●環境			54	10%
まとめた意見	大気質		5	1%
	工事中の粉じん、排ガスに依る農地への影響 【グループ12】	5		
	地下水		6	1%
	工事に伴う深井戸への影響・・・おいしい水道水は飲めるのか 【グループ3】	6		
	動物・植物・生態系		9	2%
	自然・動植物への悪影響、“野鳥” 【グループ10】	9		
	緑の量		5	1%
	農地、緑の減少 【グループ14】	5		
	日照障害・電波障害・風など		8	1%
	光害(動植物への影響、ペットも) 【グループ1】	8		
	史跡・文化財		14	3%
	遺跡、神社等歴史を守れるか 【グループ14】	14		
	環境一般		7	1%
残したい意見	住環境の質が下がる(全市的) 【グループ10】	4		
	学校は騒音防止、大気汚染が心配。窓が開けられないのでクーラー設備が必要なのは? 【グループ8】	3		
	電線等の地下化 【グループ7】			
	地殻変動の心配 【グループ8】			

第3回話し合いテーマ

「まちづくりで心配なことは？ ～通学路や日常生活など～」(得票総計＝550票)

【 】内はグループ名を表す。

心配や課題に対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●まちづくり			211	39%
まとめた意見	まちづくり全般		64	12%
	農地減少による農業の衰退の心配 【グループ3】	23		
	自給率40%の日本、三鷹は農業重視すべきでは(農業への悪影響は良くない) 【グループ4】	16		
	農地の確保 【グループ6】	13		
	歩道、自転車、自動車の専用道路を完備する(モデル地区として新しい街をつくる) 【グループ8】	12		
	地域分断		50	9%
	越境入学ができるように 【グループ7】	21		
	北野地区4分割化、通学・生活道路、工事中含む 【グループ10】	6		
	北野地区コミュニティの4分断 【グループ15】	6		
	北野地区の分断・再編成が非現実的ではないか 【グループ3】	5		
	伝統的なコミュニティが分断される 【グループ4】	5		
	地域の分断への対策 【グループ12】	5		
	現状の計画のままだと地域が分断されてコミュニティが失くなる 【グループ5】	2		
	土地利用		97	18%
	伝統行事の場所の確保 【グループ15】	15		
	三日月地区の公園化。調布市との対話が必要なのは？ 【グループ8】	11		
	フタかけ部分は本当に活用可能なのか 【グループ3】	11		
	三角地帯にトンネルをつけ公園にする 【グループ2】	9		
	用途制限(住宅や物流センターの対策) 【グループ12】	8		
	インター入口とジャンクションの間に広場をつけ歩道をつける(高架を含む) 【グループ2】	8		
	緑地の保存と創設 【グループ6】	7		
残したい意見	ふたがけ(ドーム型)、換気所をつき山にしてしまっって鎮守の森のようにしたらどうか？ 【グループ8】	7		
	換気所の周辺に里山と遊園地を作る 【グループ2】	6		
	トンネル工事の模型 換気所の施設内に救急センター、防災拠点、文化財展示 【グループ2】	6		
	地域コミュニティを維持するための施設の配置 【グループ13】	5		
	スポーツ広場、ゲートボール場の代わりは？ 【グループ7】	4		
	新三角地帯の公園化、住民と相談 【グループ2】			
残したい意見	農地と歴史がまちから消える 【グループ5】			
	大型商業施設の増加 【グループ5】			
	三日月地帯の地域コミュニティの崩壊 【グループ13】			
	用途地域の規制、都市計画の変更がないか心配 【グループ14】			

第3回話し合いテーマ

「まちづくりで心配なことは？ ～通学路や日常生活など～」(得票総計=550票)

【 】内はグループ名を表す。

心配や課題に対する意見 ※得票数の多い順に掲載		得票数	計	得票率
●安全・安心			116	21%
まとめた意見	交通安全・治安		61	11%
	子供たちの通学への悪影響 【グループ4】	8		
	IC付近の風紀上の問題 【グループ14】	8		
	緑地帯の治安の確保 【グループ13】	7		
	交通弱者の安全確保 【グループ13】	7		
	脇道や生活道路の安全確保 【グループ3】	6		
	生活環境の悪化(治安)が心配 【グループ15】	6		
	生活道路に車があふれて、子どもや高齢者が安心して歩けなくなる 【グループ5】	5		
	環境・治安対策は(老人・子供も含め) 【グループ6】	5		
	生活弱者を配慮した道路整備 【グループ15】	5		
	北野小、六中の児童・学生の安全な通学路の確保 【グループ15】	4		
	災害・事故時の対応		55	10%
	農地減少による保水力の担保(JCT 内の雨水対策) 【グループ1】	14		
	防災・災害対策は(緊急自動車進入路) 【グループ6】	12		
	交通量の増大に伴う事故多発と医療サービスへの影響 【グループ1】	10		
まとめた意見	ゲリラ豪雨等の都市型災害への対応 【グループ13】	8		
	災害時の緊急車両のルート確保 【グループ14】	8		
	緊急車両の進入経路の確保 【グループ7】	3		
	●工事中		27	4%
	工事中の交通への影響		13	2%
	工事中の生活道路の確保 【グループ8】	7		
	工事中を含めた通学路の問題(要 スクールバス) 【グループ12】	6		
	工事中の環境への影響		8	1%
	工事中の日常生活の安定(公害、緊急車両など) 【グループ12】	8		
	工事中の安全性		6	1%
まとめた意見	工事中の安全・防犯が心配 【グループ5】	3		
	工事中の工事車両の安全性 【グループ7】	3		
	●計画検討の進め方		81	15%
	計画検討全般		26	5%
	ジャンクションの地下化(中央道の地下化) 【グループ1】	21		
	近隣の市・区との連携 【グループ10】	5		
	情報の提供		29	5%
	公害対策のための基礎観測データが不足 【グループ5】	29		
	予測結果		26	5%
	根本的な問題は、国土省の予測評価が信用できない(地下水、交通量) 【グループ4】	26		
残したい意見				
調布、世田谷の住民との対話 【グループ8】				